

2007-03-07

56 期王将戦七番勝負第6局千日指し直し局

先手 佐藤康光棋聖 後手 羽生善治王将

【図は42手目△2六歩まで】

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
▲			△						▲	一
			▲	王	△			▲		二
		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	三
▲			▲	▲	▲	▲	▲			四
					▲			▲		五
			▲	▲	▲	▲	▲	▲		六
▲	▲		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	七
▲	▲							▲		八
▲	▲		▲	▲				▲	▲	九

▲佐藤康光棋聖 なし

42 手目 2 六歩の局面

43 手目 7 五歩と突いて桂頭を将来の7筋攻撃にアヤをつける。

桂頭を攻める歩を補充するために4筋を突き、銀をさばく

▲ 7 五歩△同歩▲ 4 六歩△同歩▲同銀△ 4 五歩打

▲ 5 五銀△同銀▲同歩△ 6 三銀

52 手目 6 三銀は桂頭の歩を守る手。

【図は53手目▲4八飛まで】

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
▲			△						▲	一
			▲	王	△			▲		二
		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	三
▲			▲	▲	▲	▲	▲			四
			▲		▲			▲		五
			▲					▲		六
▲	▲		▲				▲	▲	▲	七
▲	▲							▲		八
▲	▲		▲	▲				▲	▲	九

▲佐藤康光棋聖 銀歩

53 手目 4 八飛車で2筋を放棄し4筋からの逆襲を見せ、54 手目 4 六銀と打たせる。

4 五桂が銀取りなので4七歩を打たせる。

57 手目 7 八飛車で4筋も放棄。

▲ 4 八飛△ 4 六銀打▲ 4 五桂△ 4 七歩打▲ 7 八飛

【図は59手目▲7五飛まで】

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
▲			△						▲	一
			▲	王	△			▲		二
		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	三
▲			▲	▲	▲	▲	▲			四
			▲		▲			▲		五
			▲					▲		六
▲	▲		▲					▲	▲	七
▲	▲							▲		八
▲	▲		▲	▲				▲	▲	九

▲佐藤康光棋聖 銀歩三

△ 4 五桂▲ 7 五飛

59 手目 7 五飛車で、2筋と4筋は放棄したが、相手歩切れなので7筋受けにくい。だから先手の方が指せるとの判断。

72 手目 7 六桂。(後手として当然の攻め手。これを敗着にさせるのが佐藤の強さ)

【図は72手目△7六桂まで】



佐藤は 73 手目 7 七銀！(7 七銀打ではない！相当危ないが、余計な駒は受けに使わない)

【図は73手目▲7七銀まで】



以下、△8五金▲7六銀△同金▲7四桂打△5一王▲3一銀打でいっきに寄せてしまおうという意味。

自玉も危ないが一手差で残しておけばよいという考え方なので、ほとんど受けない。

もし6六角なら喜んで7七角とぶつけて、寄せるための駒を補充していく。

80 手目 3 二飛。

81 手目 4 二銀。同金だと同銀成・同飛車・4 三歩で寄ってしまうので、82 手目同飛車。

以下、△3二飛▲4二銀打△同飛▲同銀成△同金▲4三歩打△5二金△4五飛打▲4六歩打△5五飛▲4七歩成

91 手目 5 三飛車成！

同金だと 3 三角以下で詰むのでじっと 4 一玉！

▲5三飛成△4一王▲2三角打△3二銀打

▲6三竜△同金▲3三銀打△9二飛打▲3二銀成△5二王▲4二歩成△5三王▲3四角成△5四王

▲5六歩打まで 105 手で先手の勝ち

93 手目プロの直感は 6 三竜。

でも 7 二銀の受けがあり寄らない。

なので、93 手目 2 三角。

この辺りの終盤での読みの正確性がすごい。

【図は79手目▲3一銀まで】



2006-08-17

棋戦 竜王戦 先手 佐藤康光 後手 森内俊之

【図は108手目△4九飛まで】



108手目4九飛の局面

馬取り・銀取りなど、プロ的な言葉でいうと先手・忙しい局面

ここで、佐藤の手は、5五馬！

【図は109手目▲5五馬まで】



もし4一の馬を取れば、6四馬で勝ちと判断している！

よって、森内は同銀。

▲7三銀打△同歩▲同歩成△同玉

▲6三飛打！

以下、

△8二玉▲6一飛成△7二銀打▲同龍！

△同玉▲7三歩打△8二玉▲7二金打

△9二玉▲9四銀

まで125手で先手の勝ち

【図は115手目▲6三飛まで】



【図は125手目▲9四銀まで】



【図は66手目△5八歩まで】



66手目5八歩の局面
 ここから佐藤穴熊の暴力的な攻めが炸裂！
 ここで佐藤の手は、
 ▲85歩△同歩▲84歩△同銀▲同角！

【図は71手目▲8四同角まで】



△同角▲24飛△57角成▲21飛成
 先手の成駒は2一竜で後手は5七馬。
 駒損は角と桂の交換だが、
 この局面↓で先手指せるとの判断。

【図は75手目▲2一飛成まで】



【図は77手目▲6六歩まで】



以下
 △5六飛▲6六歩（集点の歩・受けの妙手）
 ※攻めの持ち駒が少ない分を
 歩の技術で補っている
 △5五角打▲6七銀打
 △4六飛▲8四桂打△7三金▲5六歩打
 △6六角▲同銀△同馬▲7一角打
 △8三玉▲4四角成△同歩▲8一龍
 まで91手で先手の勝ち